

会議録（１）

会議の名称	第6回飯能市地域公共交通対策協議会
開催日時	平成27年2月2日（火） 開会 14時00分 閉会 15時30分
開催場所	飯能市役所 別館1階 危機管理会議室
会長氏名	大久保 勝
座長氏名	吉田 樹
出席委員	吉田 樹、木部 康久、鶴岡 洋、中村浩幸、関根 康洋、堀米 康史、 倉掛 正昭、早野 文二、石井 平八、石井 克己、村松 守夫、 新井 貞市、中川 淳
欠席委員	大久保 勝、真野 綾子、倉掛 泰明、山田 貴志
説明者の職氏名	飯能市企画総務部企画調整課 吉澤 享 飯能市企画総務部企画調整課総合政策・交通政策担当主幹 西島 正樹 飯能市企画総務部企画調整課総合政策・交通政策担当主任 雛元 弘二 株式会社武揚堂 小林 和生
傍聴者の数	1名
会議次第	別紙の通り
配布資料	別紙の通り
事務局職員職氏名	飯能市企画総務部企画調整課 吉澤 享 飯能市企画総務部企画調整課総合政策・交通政策担当主幹 西島 正樹 飯能市企画総務部企画調整課総合政策・交通政策担当主任 雛元 弘二

会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項

（１）「（仮称）飯能市３社共通バスマップ」の内容について

資料に基づき説明を行い、委員から意見を求めた。バスマップの内容については、意見に基づき修正することとした。

（２）平成２６年度実施事業について（報告）

資料に基づき説明を行い、委員から意見を求めた。

（３）その他

会議録（3）

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p><開会></p> <p>本日は、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>定刻になりましたので、ただ今から第6回飯能市地域公共交通対策協議会を開会させていただきます。進行を務めさせていただきます、企画調整課長の吉澤と申します。どうぞよろしくお祈いします。</p> <p>それでは、座長を務めて頂いております吉田先生からご挨拶を頂戴したいと存じます。</p>
座長	<p>久々の対策協議会となりますのでよろしくお祈いいたします。昨年度に策定した公共交通基本計画に基づきまして、最優先事業として、事業者3社の共通したバスマップの作成を進めております。昨年中から事業者の皆さんと共に、マップの作成を進めてきました。バスマップの内容について、委員の皆さんからユーザーとしての立場や、地域住民としての立場から、生の意見を頂いて、さらにバージョンアップさせたいと考えております。もう一点として、実施事業として取り組んでいることでもありますので、後ほど事務局から報告を頂きます。</p>
事務局	<p>先生、どうもありがとうございました。始めに、本日の協議会を開催した理由についてご報告いたします。</p> <p>昨年度、皆様にご協議いただきました「飯能市地域公共交通基本計画」に位置付けております、公共バスマップにつきましては最優先事業として、今年度着手しております。これまで、吉田先生、バス事業者の皆様と分科会を開催し、バスマップについて検討を進めてまいりました。</p> <p>最終的にバスマップをまとめるに当たりまして、事務局や事業者の意見だけでなく、協議会委員の皆様からのご意見、ご提言を反映させるべきとのご意見がありましたので、本日の開催に至った次第です。</p> <p>なお、本協議会の委員につきましては、平成24年10月9日に任期を2年でご委嘱申し上げました。本来であれば、昨年10月に任期は満了となっておりますが、そういった趣旨もございまして、今回、皆様にお集まりいただきました。ご協力を誠に感謝申し上げます。</p> <p>はじめに欠席委員をご報告申し上げます。</p> <p>公募委員の真野委員、民生委員・児童委員の倉掛委員、埼玉県交通政策課様より欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>また、人事異動によりまして、関東運輸局埼玉運輸支局から木部様にご出席</p>

	<p>を頂いております。また、国際興業株式会社からは中村様にご出席いただいております。</p> <p>なお、会長の久保市長ですが、他の公務と重なっております、本日は欠席とさせていただきます。みなさまにくれぐれもよろしくお願いいたしますの言葉を承っておりますので、ご報告させていただきます。</p> <p>なお、この協議会は、広く市民の皆様にご周知していただく必要がありますので、公開が前提となっております。本日も傍聴者の方が入っておりますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に移らせていただきます。議事の進行につきましては、吉田先生をお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p> <p><議事></p> <p>座長 それでは皆様のご協力を頂きながら、議事を進めさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。まず本日の議事ですけれども、(2)は報告が中心となりますので、(1)のバスマップについて時間をかけて皆さまからご意見を頂きたいと思っております。</p> <p>皆さまのお手元に、カラー刷りのマップ原稿が配布されていると思っておりますが、まずバスルートマップの制作に至った経緯やこれまでの議論の経過などについて、事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局 事務局の西島と申します。よろしくお願いいたします。これまでの経緯等につきましてご説明申し上げます。</p> <p>まず、これまでの経緯について。昨年、吉田先生、国際興業様、西武バス様、イーグルバス様と分科会を開催し、その他メールなどで調整をしながらバスマップの作成を進めてまいりました。本日、皆さまにお配りしたマップはA3に縮小しておりますが、最終的にはホワイトボードに貼ってある大きさと作成します。サイズはA2版、部数につきましては1万部としております。</p> <p>内容につきましては、バスルートを掲載した地図面と、情報面の両面で協議を進めてまいりました。掲載内容が概ね決まった後、入札によりバスマップを作成していただく業者を決め、本日ご出席いただいている武揚堂様に作成をお願いすることとなりました。</p> <p>まず、バスルートが掲載されているマップ面をご覧ください。こちらには、バスの路線図と主な公共施設、観光施設を掲載しています。路線を示している線につきましては、運行頻度により線の太さを分けております。線の種類につきましては左下の凡例にお示ししておりますが、飯能のバス路線の現状に合わせるため、路線の運行頻度が30分に1本程度と、1時間に1本程度、1時間</p>
--	--

座長	<p>に1本以下、そして土日祝日だけの運行とに分けた表示としております。</p> <p>市内の路線バスのほとんどが飯能駅を起終点としておりますので、飯能駅と東飯能駅周辺を拡大図でお示ししてあります。</p> <p>情報面は、始めにバスの利用方法について、各事業者様から写真等のご提供を頂き、利用方法を掲載しています。それから現金とパスモ・スイカでの乗降方法や、バスに乗りなれていない方のために、西武バス様、国際興業様でパスモ・スイカが使えるということも記載しております。</p> <p>飯能駅と東飯能駅周辺の拡大図を掲載しておりますが、飯能駅北口につきましては、国際興業バス様の間野黒指線、双柳の市営住宅方面とイーグルバス様の高萩駅、ひだか団地方面の乗り場が①となっております。それから②は、名栗原市場方面と西武日高方面となっておりますが、実際の乗り場では①と②の間にもう一つ乗り場がありますので、②-2として表示しております。</p> <p>それから、東飯能駅につきましては、乗り場を4つ記載しております。すべての乗り場にバスが停まるということではなく、系統によって停まる場所が異なるため、現地に合わせて乗り場の番号をつけております。</p> <p>その下には、乗り場ごとの行先や系統番号、運行会社を一覧にてお示しております。飯能駅を発着していないバスにつきましては「その他の系統」として整理してあります。</p> <p>その右側には情報面として、公共施設や観光施設の最寄りのバス停または鉄道駅を一覧にしています。それぞれの路線系統、地図上での位置も併せて掲載しています。</p> <p>飯能駅、東飯能駅周辺にある施設につきましては、すべての路線が集中していることから、飯能駅、東飯能駅という表示で統一をしたところでございます。</p> <p>マップの内容につきましては、1月に素案ができた段階でバス事業者様にもご確認いただき、修正を行っております。完成までには、さらに細かく内容をチェックして、間違いの無いようにしたいと考えております。</p> <p>施設一覧の下に、飯能市の主な観光スポットと、ヤマノススメの舞台紹介として主な場所を掲載してあります。特にヤマノススメにつきましては、飯能市に住む高校生がアニメの主人公という設定であり、アニメは12月で終了しましたが、まだ連載が続いていることから、本市もまだまだヤマノススメに力を入れていきたいと考えております。また、国際興業様におかれましても、ヤマノススメのラッピングバスを運行していただいていることも踏まえまして、ヤマノススメの紹介欄を設けております。</p> <p>簡単ではありますが、バスマップの経緯と説明は以上です。</p> <p>ありがとうございました。全体の説明をいただきましたが、マップ面には、バス路線のコースが地図上に落とし込んであります。情報面には、表紙と裏表</p>
----	---

委員	<p>紙を含む形で、乗り場案内やバスの利用方法を掲載してあります。</p> <p>バスの利用方法については、都市部ではいわゆる前乗りが多いのですが、飯能市では中乗り、前降りであり、東京都区部と異なるところがあるため、説明が必要であるとのことから掲載をしています。</p> <p>公共施設や観光施設など目的地別にどの系統を使えば行けるのかを内容として盛り込んでおります。お手元にはA3版のものをお配りしておりますが、実際はA2版になりますので、文字の大きさ等を確認いただくため、全員の分はありませんが配布いたしますので、2人一組でご確認をお願いします。</p> <p>マップ面にバスの系統番号とルートを掲載しております。例えば「飯能01」や「名栗02」など、一系統につき一つの線を入れるという表現方式もありますが、それだと飯能駅周辺では十数本の路線を記載する必要があり、見づらくなってしまいます。また、途中で路線が分岐している系統では、一つ一つの系統の運行頻度は少なくとも、同じ方面にいく系統については、1本の線として表現し、線の太さで運行頻度を表現した方がわかりやすいのではないかと、この意見が分科会の議論の中でありました。</p> <p>こうした経緯から、バスルートについては、方面毎にまとめて1本のシンプルな線で掲載し、太線が1時間に1本程度、中太が1時間に1本以下、細い実線がそれより少ない一日に数本程度、点線が土日だけしか運行していない路線とし、どれくらいの運行頻度があるのか、マップを見れば一目でわかる様な表現にしております。また、方面別で色分けをしており、例えば名栗方面、原市場名栗方面ではオレンジ、飯能駅南口から美杉台方面が青色としております。今後の展開として、例えば駅前広場などの案内や乗り場の標識を作るときに、バスマップで表現した色を使用することによって、どの方面に行くバスなのかをよりわかりやすく色で表現することができるようになります。</p> <p>その他にもいろいろな情報をマップ面に掲載しております。例えば地区行政センターや郵便局、学校といった公共施設をはじめ、観光スポットとしてキャンプ場やお寺、神社、温泉といったものを掲載しております。バスの路線図だけでなく、周辺の施設の案内も含めて掲載してあります。</p> <p>他市には無い特徴として、ハイキングルートを掲載しております。関東のふれあいの路などのハイキングルートを黄土色の点線で表現しております。</p> <p>情報面については、他市のバスマップにも見られるオーソドックスなものを掲載していますが、まだ分かりづらい所があるかもしれません。</p> <p>これまでの検討概要としては以上ですが、細かい点でも、大きな編集上の点でも構いませんので、皆さまからご意見をお願いいたします。</p> <p>表紙には、国際興業さん、西武バスさん、イーグルバスさんのそれぞれに色がついているのですが、マップ面との関連は考えておられないのでしょうか。</p>
----	---

座長	<p>表紙では国際興業さんが緑、西武バスがブルー、イーグルバスさんがオレンジとなっていますが、マップ面のバスルートの色と関連していません。これでは、利用者が見た時に勘違いをしてしまうのではと思います。</p> <p>たしかに、ルートマップの線の色と、表紙の各社に付けられている色が、同じような色が使われているので、分かりづらくなっています。表紙の国際興業バスの色が緑なのに、同じような緑系の色がマップ面ではイーグルバスの路線の色になっている。また、表紙のイーグルバスのオレンジ色が、マップ面では国際興業の名栗方面のオレンジ色になっています。表紙の各社紹介に、誤解を招くような色を使う必要はないのかもしれないですね。</p> <p>ただ、ひとつ気になったのは、皆さんがマップを見るときに、どこの系統がどの会社の路線なのか、お知りになりたいのかどうか、ということはひとつの論点になると思います。例えば、他市のバスマップでは、系統番号の脇にどこの会社が運行しているのか分かるようにマークを入れています。マップ面を見るだけで、どこの会社が運行しているのかが分かる様になっています。丸印でも星印でも良いと思うので、系統番号の脇にそういった表示があってもよいのかもしれない。その辺りについて、事務局としてはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>色の取り扱いにきましてはご指摘のとおり、現在の記載方法では利用者に誤解をさせていただきますので、表紙でバス会社ごとに色をつけることは改めたいと思います。あと、座長からご提案いただいた、マークを路線番号の脇に付けて、どの路線がどの会社かが分かるように表示することについては、初めてバスを利用する方にも分かりやすくなると思いますので、対応したいと思います。</p>
座長	<p>その他にご意見はありますか。</p>
委員	<p>分科会でも意見があったと思いますが、マップの大きさについては実際にどういう人がどんな場面で使うのかを考えないといけないという話があったと思います。ある程度大きくないと見づらいと思いますが、大きすぎると持ち歩くのに不便となってしまいます。具体的にはどういった場面で使うことを想定して作られているのでしょうか。</p>
座長	<p>大きさがどの程度の大きさかということと、利用者や利用方法の設定ですね。配布方法も含めた検討が必要だと思いますが、いかがでしょうか。</p>

事務局	<p>大きさにつきましては、折り込むと表紙のサイズになるようにと考えております。配布につきましては、1万部を作成する予定ですので、まず飯能市に転入された方。それと、飯能駅に「ぷらっと飯能」という観光案内所ができましたので、そういった所に置いて、飯能を訪れた方がマップを見てバス利用していただく事を考えている所です。その他、部数が残る様であれば、イベント等で配れる機会があれば配布していきたいと考えております。</p>
座長	<p>まず1万部という部数がある話となりますが、ちなみに転入者はだいたい年間何世帯くらいになりますか。</p>
事務局	<p>世帯数は分かりませんが、人数では年間300人位が転入してきていたと思います。</p>
座長	<p>転入者にはそれほど配らずに済むという事になりますね。9600部から9700部は他の手段で配らなければならないということになります。できるだけ広く配布した方が良いでしょう、他の自治体では足りなくなってしまうこともしばしばあります。ただ、初めての配布なので、できるだけ広く配布することを優先するのが良いと思います。</p> <p>大きさについては、A2を折った表紙の大きさになりますが、他市でもだいたいこの大きさであることが多いです。</p> <p>一方、こちらは青森県八戸市のバスマップですが、ハンディタイプで三浦折りを採用しています。ハンドバックに入れたり、手帳に挟んで持ち歩いたりするのにちょうどいい大きさになっています。この折り方についても、見積もりを事務局で取っていただいているのですが、事務局が提示している折り方では1万部つくることができませんが、ハンディタイプの折り方では千部、2千部しかつくれないと思われそうです。三浦折りが特許を取っている関係で、高価になっております。最初からこの折り方は目指さずに、たくさんの部数を作成し、まずは市民の皆さん、特に転入者の皆さんに、広く行き渡らせることを目指していく、そういった理解でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>はい、その通りです。</p>
座長	<p>今年度配ってみて、どのくらい皆さんからご意見があったのか、どれくらい配ることができたのかといった実績を見て、今後のバスマップの在り方を考えていく必要があると思っています。八戸市での経験では、飯能市と同じ大きさでバスマップを作成し、数万部を配った時に、ある女性市議会議員から、カバンにいれるとぐちゃぐちゃになってしまうというご指摘を頂いたので、こ</p>

	<p>のハンディタイプの折り方に変更した経緯があります。これも、最初に配った時に部数が余ったので、この折り方に置き換えても費用は同じで、一部当たりの単価が上がったとしても、使う人が喜んでくれるだろうということで、この形にしたのです。八戸市でもこの形に至るまで、1、2年かけています。配られた様子であるとか、実際にどういった場面で使っていたのかといった結果を判断した上で、折り方等については今後考えていかなければならないのかなと思います。</p> <p>ただ、バスマップの版ができたことについては、ひとつのパターンができたので、今後の展開していくのもかなり楽になると思います。転入者が300名程度であれば、どこで配布していくのか、ちょっと考えてみます。</p>
事務局	<p>申し訳ありません。転入者の実績ですが、平成25年の実績では3,000人弱の転入となっております。先ほどの報告では、転入と転出の差が300人の転出超過となっていたところを間違えて説明してしまいました。1世帯の平均が2人を切る状況ですので、1500から2000世帯の転入があるものと思われます。</p>
座長	<p>2000世帯の転入があるとすると、残りは8000部ありますよね。それをどう配布するのか。広く配っても良いのかもかもしれません。例えば各バス会社さんのそれぞれの案内所に置いていただくとか、あるいは公共施設、場合によっては学校で配布していただくのも、モビリティマネジメントの一環として良いかも知れませんが、他市でも学校で配布している事例もあります。</p> <p>配り方をどうするのかは、よく考えないといけないかもしれません。他市では初年度にかなり余ってしまったので、その配布にはだいぶ苦労した経験があります。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>バスマップの右下に、飯能市の主な観光スポットという欄があります。折りたたむと裏表紙になる部分ですが、例えば、他市から来た人が宮沢湖に行きたいと思った時に、どこの乗り場でどの系統に乗ったら良いのかわからない。マップを開いて、上の観光施設の一欄を見れば掲載されていますが、この部分だけを見て分かるようにして頂けると良いと思います。</p> <p>それからバス利用方法の部分について、「②車内」の写真が分かりづらいので、どういった写真なのか分かるようにした方が良いと思います。</p>
座長	<p>たしかに右側写真の「飯能駅南口」はまだ分かりませんが、真ん中写真の「一折返場」の表示は、スクロールしている状態で写真を撮影されたのだと思いますが、これは確かに分かりづらい。「0、1、2…」という番号も、「無、1、</p>

	<p>2…」だと思うので、この写真も分かりづらいところがあります。この写真もご苦労されて撮影されたのだと思いますが、もう少し工夫をする必要があると思われる。</p> <p>あと、乗り場ですね。飯能市の主な観光スポットというところに最寄りのバス停が書いてありますけれども、たしかに欲を言えばこの公共施設や観光施設の一覧についても、飯能駅、東飯能駅の何番乗り場に行けばバスに乗れるのかといった表記があると良いと思います。</p> <p>完成版では蛇腹で折られていますので、例えば宮沢湖温泉に行こうと思って、施設一覧を探して系統が分かっても、どこから乗ったら良いのかを知るためには駅周辺の乗り場案内を見なければならぬ。いろいろな所を見なければならぬのではなく、行先を調べた時に、まとめて系統番号と何番乗り場なのかが分かるようにしておくが良いと思います。</p> <p>運賃を掲載しても良いのかもしれませんが、消費税増税による変更や、ICカード運賃と一般運賃が異なるので、掲載は難しいかも知れません。</p> <p>施設一覧については、スペース等の都合もあると思いますが、事務局で検討してください。</p>
事務局	分かりました。
委員	観光施設がいろいろと掲載されていますが、選んだ基準は何かありますか。
事務局	基準につきましては、市の観光ガイドマップをベースに観光の担当と相談して、特にバスで行ける場所を中心に決めたという経緯があります。特に、名栗方面の観光に力を入れていることから、重点的に掲載しています。
委員	喜楽里が載っていたので思ったのですが、名栗方面だと例えば民宿や旅館がありますので、名栗に行きたいという人が、どこで泊まれば良いのか掲載してあると良いと思います。名栗に住んでいますので、例えば大松閣が掲載されていると、友人が来る時に、ここに泊まると良いよと説明がしやすいと思います。
事務局	観光の担当と相談して、問題なければ宿泊施設についても掲載できないか検討してみます。
座長	<p>自治体によっては、宿泊施設を入れているバスマップもあります。それは地元のホテル業協同組合や、観光の担当とかなり相談して掲載している様です。まず観光の担当と相談をしていただくのが良いと思います。</p> <p>あと、名栗の話がありましたが、一覧の「さつき」から「白岩溪流園」まで</p>

事務局	<p>同じ系統が並んでいますが、何か見にくいので、例えば集約して記載ができないかと思います。これだけいっぱい施設がある、というアピールとしては良いのかもしれません、これだけ細かくなると少し見づらと思います。</p> <p>観光施設が少し詰め過ぎかもしれませんね。もし「森林文化都市宣言」を外せるのであれば、もう少しスペースをつくれるかもしれませんね。</p> <p>森林文化都市宣言を入れたのは、素案を頂いた時に空欄があったので宣言を入れましたが、ご意見をいただいた宿泊施設等を入れた場合、スペースが不足すると思われまますので、森林文化都市宣言は外して、調整をしたいと思えます。観光施設が詰まっているという話につきましては、極端に言えば1行位空けると見やすくなるかもしれませんので、行間を広げることで対応します。</p>
座長	<p>あと、これは専門的になってしまいますが、カラーユニバーサルデザインの配慮がマップを作るときには必要となりますが、その部分については、業者さんの方で配慮されて、背景色も含めてこの色を用いられていると考えてよろしいでしょうか。</p>
武揚堂	<p>はい、私どもの方でユニバーサルデザインという事で、色弱の方や見にくい方を対象にした色使いとしています。</p>
座長	<p>もう少し行間などスペースを取っていただいて、見やすくして頂きたいと思えます。その他、ご意見はありますか。</p>
委員	<p>せっかくいいマップができたので、マップの電子化は検討されていますでしょうか。例えば、主要な駅のバス停でマップが見られますよという案内をしておけば、調べて使う人も多いかも知れません。紙のマップを携帯しづらいという意見もありましたので、電子化をご検討いただければ、マップをつくった効果がさらに高まるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>ただいま頂きましたご意見のとおり、電子化をいたしましてホームページ等への掲載はもちろんのこと、来年度以降「飯能アプリ」という飯能独自のアプリケーションの開発に着手する予定でございますので、その中で今回作成したデータが活用できないか、頂いたご意見を基に検討したいと考えております。</p>
座長	<p>確かに印刷物を使わずに、スマートフォン上で情報を閲覧する人も増えていきます。そういったインターネットやスマートフォンに対応できる環境にしておく方が良いと思えます。飯能市のホームページに出していくことも必要ですが、</p>

	<p>バスの時刻を調べようと思った人で、飯能市のホームページを見る人は少なく、各バス会社のホームページを直接調べると思います。例えば、バス会社さんのホームページから飯能市役所のホームページに誘導できる様にしておくと、使い勝手が良くなると思いますので、その辺りもご検討いただければと思います。</p>
委員	<p>埼玉県バス協会ホームページを持っており、その中に県内のバスマップを掲載しています。アプリにつきましても、埼玉県でアプリをつくっており、アプリから各社ホームページに行けるようになっています。もしよろしければ、この案内WEBへのリンクを入れていただければ便利になると思います。実際の運賃等については、各社のホームページで確認していただく形になっています。利用していただくと良いかなと思いました。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p>
座長	<p>紙媒体以外で、どこで公開するかという話も検討が必要だと思います。 その他、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>駅などでの配布も検討されていますか。駅での配布は、JR等では難しいと聞いて言いますが、飯能に観光で来た方に配ることができれば、見ながら観光していただけるかと思います。</p>
座長	<p>駅の所もそうですが、飯能ではバスの案内所が開いている時間が限られているので、もう少し目につくところにおいても良いかと思います。</p> <p>福島県郡山市では市でバスマップを作成し、やはり駅で配布することを検討しましたが、JR窓口には置かせてもらうことができませんでした。折衷案として、JRの切符売り場の脇に置いています。見にくいところですが、取ろうと思えば取れる場所に置いている状況です。</p> <p>配布場所については、いろいろ考える必要があります。配布場所を考える上で、市民の方がどこに行こうとしているのか、目的地も重要になると思います。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>バスルートマップの所で、起終点となっているバス停は黄色い背景色で黒文字で表現していると思いますが、系統番号については起終点となる系統しか記載されていない形になっています。例えば、上赤沢では「飯06」しか記載されていませんが、ここには「飯01」など別の系統も通っています。そこも含めて掲載しないと、利用者が勘違いしてしまうと思います。起終点についても、そ</p>

	<p>こを通るすべての系統を掲載した方が良いと思います。</p> <p>先ほど電子化の話がありましたけれども、もし飯能市のホームページのアドレスがすでに決まっているのであれば、そのアドレスをQRコードにしてマップに掲載しておけば、地図を持ち歩かなくても利用者がスマートフォンで見られるようになって良いと思います。</p> <p>あと例えば、当社の時刻表にQRコードを入れておけば、バスルートマップを確認することができるなど、電子化によっていい面が多いかと思っておりますので、その辺りも含めてご検討いただければと思います。</p>
座長	<p>QRコードをスマートフォンに保存して、持ち歩く人もいると思いますので、裏表紙に掲載するのは良いかも知れません。</p> <p>あと、系統番号の表記については重要なご指摘を頂きました。現在は着番号と言いますか、終点の系統番号しか記載していません。重要なのはこの区間にどの系統が走っているのかというところが情報として欲しいので、そういった意味では全部の系統番号を掲載した方が良いのではというご意見であったかと思っております。</p> <p>例として出た上赤沢では、その先に終点がある「飯 01」「飯 01-2」「飯 02」「飯 02-2」「飯 03」「飯 03-2」「名栗 01」「名栗 02」といった系統番号が全部入っていないと、分からなくなってしまうと思います。飯能駅周辺はすべての系統が入っているようですが、拡大図以外は抜けてまわっているので、委員からご意見頂いた内容で修正した方が良いと思います。</p>
事務局	<p>系統番号については加えるようにします。</p>
座長	<p>逆に、飯能駅周辺に全部の系統名を記載しておく必要があるのかという話もあります。いらなくなってしまうかもしれませんね。飯能駅からどちらの方面に行きたいのかという情報が大事であり、基本的には逆方面はすべて飯能駅に行きますので、委員からご提案のあった記載方法の方が分かりやすいですし、同じ方向の系統を1本の線にまとめたことも生きてくると思います。重要なご指摘でした。ありがとうございます。その他にございますでしょうか。</p> <p>私から1点確認なのですが、表紙に平成26年度版と書いてあるのですが、これは平成27年4月1日時点のダイヤの内容である解釈でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>はい、そのように考えております。</p>
座長	<p>年度途中でのダイヤ改正もあるので、年度記載とするといつ時点なのか分か</p>

委員	<p>らなくなってしまう。何年何月何日時点という記載にした方が良いと思います。その他にございますか。</p> <p>これまでの説明を伺っていて、市外から来られる方がこのマップにより、バスが使いやすくなり利用していただくということが目的になっているという印象を受けました。</p> <p>ただ、バスは生活交通ですので、できる限り市民の方に利用していただくことが大切であり、バスマップも市民の方の利用促進につなげることが大切だと思います。転入者の方にマップを配ることでバスがあることを周知することは大切だと思いますが、それ以外に高齢者がいる世帯に配布していただくとか、近くの公共施設に行けば置いてあるとか、さらに例えば、バス停の時刻表をプリントアウトしていただけるといったサービスがあると、市民の方の使いやすさや意識が変わると思います。</p> <p>バスマップをどこに配るのかという観点の1つに、よりバスを使っただけそうな方という視点を加えていただき、また行政サービスの中でどこまでできるのかを検討していただけるとバスの利用促進につながると思いますので、要望ではなくて、意見としてご検討いただければと思います。</p>
座長	<p>いかがでしょうか。今後の展開に関してはそこまでできると良いと思います。</p>
事務局	<p>たしかに市民への情報提供、特に高齢者の方への情報提供につきましては、ホームページやアプリへの掲載ではそういった情報を扱えない方も多いと思います。地域の身近な相談窓口として行政センターがありますので、そういった所でのマップの配布や、ご意見を頂きました時刻表のプリントアウトのサービス等につきましても、研究課題として検討させていただきたいと思います。</p>
座長	<p>誰が作るのかが問題になりますが、せっかく方面別に色分けして見られるようになりましたので、例えばオレンジ方面のバス全便、全停留所が入っているような一枚の簡単な時刻表をつくっておくといったことも良いと思います。</p> <p>飯能で言えば方面別の色はオレンジ、黄色、青、ピンク、緑であり、4つか5つの時刻表でできるので、つくってしまうのが良いと思います。そうすれば、配布にも使えるし、ホームページにも掲載できると思います。</p> <p>高齢者になると、時刻表を読むことが難しくなってくると言われていますので、一つの見やすい表にすることについて、今後の展開として検討しても良いと思います。誰かが2日間くらい頑張れば、つくれると思います。</p> <p>その他、ご意見はありますか。</p>

委員	<p>公共施設、観光施設が一覧として掲載されていますが、こういった基準で並べているのでしょうか。例えば、あいうえお順等で並べておいていただけると、探しやすいと思います。</p>
座長	<p>この掲載順はどういった基準なのでしょう。</p>
事務局	<p>市民の方には大変分かりづらいかもしれませんが、地区の順番が例規で示されており、旧村単位ができた順番となっております。どちらかという役所の都合で作られている部分がございますので、ただいまのご意見を踏まえまして、どのような順番が市民の方から見て探しやすいか、検討したいと存じます。</p>
座長	<p>こういった並び方も分からないでもないですが、辞書のように検索するというになると、あいうえお順ではないので、こういった基準で並んでいるのか分からないのだと思います。あいうえお順の方が、初めての人には分かりやすいかもしれません。</p>
事務局	<p>飯能を知っている人やバスに乗り慣れている人なら分かると思いますが、初めての人から見た時に探しやすくなるように検討したいと思います。</p>
座長	<p>先ほど、私も例示として宮沢湖をあげるときに、あいうえお順で探したら見つかりませんでした。八戸市のバスマップもあいうえお順でないことに気が付きました。これは私の方でも検討課題とさせていただきたいと思います。利用者を探しやすくするという事は重要です。</p> <p>ただ小学校、中学校、大学が混ざってしまうと分かりづらくなってしまいますので、この辺りは変えなくても良いと思いますが、マップの並びでは駿河台大学の次に第二小学校が来ているので、少しおかしいですね。</p> <p>公共施設、観光施設の一覧については、並べ方、文字の配列等多くのご意見を頂いておりますので、ここはよく検討して頂ければと思います。</p> <p>皆さまから頂いたご意見を踏まえまして、今後業者さんと事務局で修正をしていただきまして、作成に移ってまいりたいと思います。あとは事業者さんの方で、バス停の表記などの細かい所、あるいはダイヤ改正などで影響が出てくる場所があるかと思うので、そこは適宜事務局の方に連絡をしていただければと思います。</p> <p>それでは、バスマップにつきましてはこの位にさせていただきまして、それ以外の今年度の実施事業について、現在の進捗状況について、事務局からご説明をお願いします。</p>

事務局	<p>それでは、議事（２）平成 26 年度実施事業（報告）をご覧ください。昨年 3 月に策定しました、飯能市地域公共交通基本計画の施策順に整理してどんなことに取り組んでいるのかについての報告でございます。</p> <p>（資料説明）</p>
座長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>ソフト事業を中心にいろいろな動きがあったということが 26 年度の総括かと思いますが、皆さまから何かご意見はございますか。</p> <p>計画の中では、毎年健康診断ではありませんが、バスの利用状況がどうなっているのかといったことについて、事業者さんがお持ちの数字を確認する作業が出てくると思います。まだ、その数字を頂ける段階ではないと思いますが、その辺りの作業も必要になってくると思います。</p> <p>ところで、実施事業の出前講座については、どこで実施されたのでしょうか。</p>
事務局	<p>4 月に市街地の飯能中央地区で地区の団体からの依頼により実施したものです。もうひとつは、原市場地区の団体を対象に実施しました。</p>
座長	<p>こういった出前講座のような形、あるいは先ほど子ども達を対象としたバスの乗り方教室も報告にありましたけれども、こうした機会を通してバスというものを身近に感じてもらう、つまりバスをひとつの選択肢として位置付けてもらう取組がより深化されてくると良いと思います。</p> <p>皆さま、その他ご意見等はよろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、今日予定されていた 2 点、特にバスマップについてご意見を頂きました。その他、後日気が付かれた点がありましたら、お早めに事務局にお知らせいただきたいと思います。</p> <p>頂いたご意見としては、表紙の 3 つの色がマップ面の系統色と混同してしまうので工夫が必要であるというところと、それから、マップ面の系統番号の記載の仕方が通っている系統をすべて記載した方が良いのではないかとのこと、あと公共施設と観光施設の一覧の記載の仕方については皆様からたくさんヒントを頂いております。</p> <p>あと、マップの具体的な活用方法についても、インターネット上からも見られるような体制、広く言えばスマートフォンからもアクセスできる体制づくり。それから、誰がやるのかという問題はありますが、これを期に方面別の時刻表の作成ですとか、もう少しわかりやすい情報提供といった、一歩踏み込んだ施策が必要ではないかというご意見もいただきました。</p>

事務局	<p>あとは、実際にどういう形でマップを配布していくのか、転入者という話が出てきましたけれども、おそらくバス会社さんそれぞれの営業所で配布いただく、地区行政センターという選択肢もあると思いますが、広く配布するとするならば、もっと人が集まる場所での配布を考えても良いと思います。</p> <p>私のこれまでの経験では、たくさん余るか、全く足りないかの2極分化しています。全く足りなくなったのは山形市のケースでして、定額給付金の申請会場の脇に置いたら4日で5千部が無くなってしまったという話がありました。それ以外のケースでは、余ってしまうということが多かったように思います。もちろんそうした時には、店舗であるとか病院、バスの乗り方教室等の人が集まる場で積極的に配布し、せっかくなつくマップを広く行き渡らせるようにしています。</p> <p>このバスマップが20年後に骨董品として売れるようなこともあるかもしれませんが、それは100部あれば十分なので、残りの9900部はしっかりと配れるように検討が必要と考えます。配布の仕方については、また皆さんにご相談することもあるかと思いますが、その時にはご協力をお願いいたします。</p> <p>その他、全体を通してご意見はございますか。</p> <p>よろしいですか。それではこの後の進行を事務局にお返ししたいと思います。どうもありがとうございました。</p> <p>吉田先生、ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の4「その他」につきまして、事務局からご報告させていただきます。</p> <p>はじめに申し上げましたとおり、協議会の委員任期はすでに満了となっております。ただ、今回皆さまにご議論いただきました計画に基づくバスマップ事業は、重要な事業でありましたので、お忙しい中ご協力を頂いたところであります。本当にありがとうございました。</p> <p>今後の協議会につきましては、これから協議会においてこういったことを協議していくか等を含めまして、検討してまいりたいと考えております。またご協力をお願いすることもあるかと思いますが、その時にはよろしくごお願い申し上げます。</p> <p>それから、吉田先生、バス事業者で構成しております分科会につきましては、今後も引き続き開催いたしまして、情報交換やバス利用策等についての意見交換をしていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくご願います。</p> <p>また、本日もご協議頂きましたバスマップにつきましては、最終的に完成しましたら委員の皆様にお送りさせていただきます。</p> <p>以上が事務局からの報告です。</p>
-----	--

	<p>事務局からの報告は以上でございます。</p> <p>委員の皆様からご報告やご連絡等がございましたらお願いしたいと思えます。</p> <p>よろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>繰り返しになりますが、委員の皆様には、これまでご協力、ご尽力をいただきまして本当にありがとうございました。</p> <p>また、吉田先生始め委員の皆様には、今後も飯能市の公共交通の維持、発展のためにご協力を賜ります機会があろうかと思えますので、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、以上をもちまして、第6回飯能市地域公共交通対策協議会を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。</p> <p><閉会></p>
--	--